



アミール・ツアルファティ

[2024 年 4 月 4 日 ニュース速報]

<https://youtu.be/qWtlYDf0ZD4>



シャローム、皆さん。アミール・ツアルファティです。イスラエルのガリラヤからライブです。今回は、イスラエルが、明日に向けてどのような準備をしているかに関する最新ニュースです。明日の金曜は、ラマダンの最後の金曜日で、その他のことも集中しています。大成功を収めたダマスカスでの IDF の作戦に関して、これにより、イラン革命防衛隊の最上級将校や将軍の一部が排除されました。彼らは基本的に、シリア、レバノン、および近隣地域のすべてのイランの代理たちに武器を与え、訓練し、資金を提供していた責任者です。では、お祈りから始めて、それから、私たちが明日に向けて何に直面、あるいは何に備えているか、そして世界中のクリスチャンにとって、熱心に祈り続けることがなぜそれほど重要なのかを説明します。

父よ、あなたに感謝します。あなたは時間を超えて存在され、終わりの事を初めから告げ、まだなされていない事を昔から告げられました。この世の何に対してもあなたは驚かれません。イスラエルに対するあなたのご計画は、2500 年以上も前に、イスラエルの預言者によって予め告げられ、そしてあなたは神で、あなたは変わることがありません。ですから父よ、私たちの心の目を開いて、御言葉の不思議を理解できるようにしてください。また、私たちが世界の出来事を調べ、あなたの御言葉を調べる際に、私たちに多くの知恵と識別力を与えてください。

あなたに感謝し、あなたを祝福します。イエシュアの御名によって、アーメン。

さて皆さん、シャローム。アミール・ツアルファティです。ガリラヤからライブで速報をお届けしています。そして...過去 48 時間にわたり、イランは、ダマスカスでのイスラエルの作戦による政府高官の殺害に復讐すると誓っています。誤解してはいけません。イスラエルとイランの紛争に、実際に大使館が関与したのは、今回だけではありません。そして、勘違いしてはいけません。この全体を実際に始めたのは、イランです。30 年以上前まで遡ることができます。1992 年のことです。3 月、爆発物を積んだトラックを、自爆

テロ犯、イラン民兵組織の片腕であるヒズボラのメンバーが運転し、アルゼンチンのブエノスアイレスにある大使館に激突して、大使館を爆破、そして、何十人もの人々を殺害しました。その中には4人のイスラエル人もおり、数百人が負傷しています。ですから、物事を正しく扱いましょう。これは、イスラエルがすべての規則を破って大使館を攻撃したのではありません。

次に、はっきり言うておきます。私はここにいて、その攻撃が起こったとき、速報を伝えました。当時、私たちは、大使が責任者なのかもしれないと思っていました。しかしその後私は、ターゲットは非常に上級の人物のはずだ、と言いました。そうでなければ、なぜ、6機のF-35を送り込み、20発の強力なロケットを発射する必要があるのか。その大使館や周囲の他の大使館に損害を与えることなく、大使館の別館を正確に破壊して、その部屋に座って私たちに対して陰謀を企てていた者たちを、まさに殺害したのです。そして、これはイランに衝撃を与えました。彼らは、イランが駐在する大使館などの手つかずの地域に、私たちが敢えて手を出そうとしたことが、信じられなかったのです。なぜなら、彼らは常に感じていたのです。「他の場所では殺されるかもしれないが、大使館では絶対に殺されない。」しかし、その一線が越えられたのです。イランは、非常に激怒しています。それは、幹部が殺害されただけでなく、また、イラン革命以来イランが制定した、エルサレム・デーであるアル・コZZの日(Al-Khuzaymah)に先立つラマダンにそれが起き、そして今度の金曜日は、ライラ・アルカドル、つまり権力の夜です。その時に、コーランの初版がムハンマドに与えられた、そしてこの時、イスラム教徒の運命、毎年の運命が決定されると、イスラム教徒は信じています。そして現在、これらすべての要素が集中していて、大変大きな問題となっています。そして、彼らは誓っています。私は、何十ものイランとアラブのチャンネルを調べていますが、グラフィックデザイナー達が残業して、イスラエルの終焉を訴えてイスラエルの主要な場所、観光地、政府施設、遺跡、軍事施設すべてに爆弾を投下するグラフィックを制作するのを見ています。私は、そのようなものを今まで見たことがありません。

では、イスラエルがどのように準備を進めているかに移りましょう。皆さん、非常に重要ですから理解してください。繰り返しますが、明日はラマダン最後の金曜日で、明日はアル・コZZの日、イランは毎年この日、パレスチナ人を支援してイスラエルに抵抗し、そしてもちろん、彼らにとってエルサレムはイスラム教であることを祝っています。明日はライラ・アルカドルで、イラン革命防衛隊全員の殺害に対する復讐が行われる予定です。そしてこれらすべての要素から、イスラエル軍が最高の警戒態勢に入りました。

さて、イスラエル軍事諜報部門の責任者の、大失敗した発言がいくつか引用されました。ハリバ将軍が密室で言ったことが、どういうわけか外部に漏れたのです。彼はこう言いました、基本的に、「最悪の事態は過ぎ去ったのではなく、この先にあり、非常に複雑な日々が待っている。」そう彼は言いました。さて、彼の言葉が取り上げられて、大きなパニックを引き起こし、多くのイスラエル人が、ATM からお金を引き出し、水や食料、発電機を購入しようと走り回りました。正直なところ、その必要はありませんでした。そのため、イスラエル政府とイスラエル国防軍の軍報道官が出てきて、ある種リラックスさせるメッセージを伝える必要がありました。しかし、そのメッセージは、リラックスとは程遠く、つまり、そのメッセージとは、「イスラエルは最高の警戒態勢にあり、我が国の戦闘機は、行動の準備ができています。そしてもちろん、本国戦線の指揮命令に変更はなかった」とイスラエル人は言われたのです。

しかし、皆さん、言っておきますが、イスラエルでは今、2つ…3つのことが起こっています。いいですか？まず第一に、防空システムの予備役を全員召集しました。イスラエルの防空システムはすべて、完全に配備、装備され、完全に準備が整っています。イランが無人機や巡航ミサイルの群れを送り込んできた場合に備えてです。また、我々はパイロット全員、空軍全員を招集し、最高の警戒態勢をとっています。そして、全戦闘兵士部隊は、誰であれ、週末などの休暇で家に帰ることは認めない、と発表しました。これも最高の警戒体制です。また、イスラエルのバス会社は、全員を部隊に動員するために軍に雇われました。つまり、私が言いたいのは、イスラエルは、10月7日以来最高の警戒態勢で、明日のイランの報復の可能性に備えています。

しかし、ここで、過去の出来事と、イランの考え方に基づいた私の評価を述べたいと思います。イランについて話す前に、言っておきます。私は、私たちが愛するイラン国民のことを言っているわけではありません。私が言っているのは、イラン政権で、イスラエルを殲滅し破壊することしか眼中にない、悪魔に取り憑かれたアヤトラの事で、彼らはサタンの道具、それだけです。私は、明確に区別しています。

イラン国民は、アヤトラを嫌っていて、もし今イランで自由選挙があれば、70%以上が、彼らの追放に投票するでしょう。ですから、誤解しないでください、私たちがイラン対イスラエルについて話すとき、私たちは、イラン国民について話しているのではなく、イラン政権の話です。いいですか？これで明確になったので、お伝えしましょう。注意深く聞いてください。また、可能であれば、シェアボタンを押してください。そうすれば、他の人も、今これを聞くことができますから。

私が今あなたに話していることは、イラン政権の教義です。イランは、核爆弾開発を進めています。それは明らかで、誰もが知っています。彼らはすでに、十分なウランを持っています。その電車は、すでに駅を出発しました。しかし、それを爆弾に組み立てる決定は、まだ下されていません。それを行う能力はあるかもしれませんが、まだ実現されていません。そして、言っておきますが、イランが望んでいたのは…よく聞いてください。いわゆる「核兵器を持つ直前段階の国」になることを、イランは望んでいました。つまり、それを持っているが、まだ何も発表していない、という段階です。そして、その時に、イスラエルを四方八方から同時攻撃する計画を実行すれば、その後、彼らが代理達に投資した、すべての努力と資金が報われる。なぜ、その時なのか？なぜなら、イランがすでに核保有していれば、イスラエルは報復する際、よく考えるようになりますから。ですから、イランは、ハマスの行為を容認していませんでした。ハマスは先駆けしたのです。そのため…ちなみに、これは私たちにとって素晴らしいことです。そのため、イランは現在、非常に困難な状況にあるのです。一方で、彼らは本当に復讐したい、彼らは、自分たちがやったということを、本当に示したくて、彼らは本当に、ライラ・アルカドル、アル・コZZズの日、ラマダンの最終金曜日の収束を利用して復讐したいのです。しかし同時に、彼らはより大きく考え、そして彼らは、核保有という長期的な利益にならないことは、何もするつもりはない。したがって、私が思うに…私は、彼らは最後まで行かないと思います。

私たちは、3つのシナリオのうちの1つを見るのだと思います。明日、確実に起こるでしょう。しかし、繰り返しますが、すべてではありません。これを見てください。まず、彼らがすでに始めていることを増大します。つまり、ヒズボラからの攻撃、イラクとシリアの民兵からの攻撃、そしてフーシ派からの攻撃。彼らはもう、パレスタニア人は利用できません。ハマスは潰れました。そのため、今後、彼らは周囲のすべての代理を使用します。しかし、彼らはそれをしてきたのです。彼らは、10月8日からそれを行っています。10月8日以来、北から、北東から、南から、東から、イスラエルにロケット弾や無人機が飛来しています。何も新しいことではありません。彼らはそれを増やすかもしれません。そのうち分かるでしょう。彼らが持つ2つ目の選択肢は、イランのロケットとドローンを、イランの国土から使用して、他の場所にあるイスラエルの「マークされた標的」を攻撃する。なぜなら、彼らは、直接ミサイル発射でイランとイスラエルを結びたくありません。なぜなら、イラン本土からイスラエルに向けてミサイルを発射した場合、イスラエルからイラン本土に向けて、ミサイルが発射される可能性があって、彼らは、それを何よりも避けたいのです。彼らは、核合意に非常に近づいているので、現時点で、私たちがそれを破棄することを避けたい、彼らは、核開発計画を危険にさらし、台無しにするようなことはしたくないのです。したがって、彼らは、他の場所にあるイスラエルの標的をイランの領土から攻撃するか、…そうすれば、他の者を送らず、自分たちで復讐

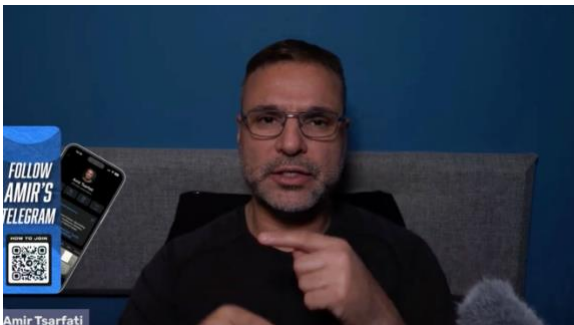
したことになるからです。あるいは、彼らがイスラエルを攻撃したいなら、彼らは代理を使うか。これらが、現在起こっている2つです。

もし彼らが、最後までやり遂げるなら、私は非常に驚くでしょう。私はイランを知っていますから。ソレイマニ殺害の後、彼らは、ある程度圧力を下げる必要があって、その為、彼らはアメリカ政府に「面目を保つために、あなたの基地を攻撃させて欲しい」と頼んだのです。皆さんが知っているかどうか分かりませんが、トランプ大統領が言いました。「イランが、自分たちの面子を保つために、我々の基地を攻撃することを許可してほしいと懇願してきた。」そしてそれが起こったのです。アメリカは、イラクとシリアの米軍基地に、全員防空壕に入るよう通告して、そしてイランはロケット弾を送り、面目を保った。ですから、イランは、米国の介入を恐れ、そして彼らは、イスラエルの大規模攻撃を恐れていて、したがって、彼らは最後まで行かないと思います。しかし、間違いなくそれは起こるでしょう。明日、何かが起こるでしょう。そのために、私たちは今、完全に備えています。こちらに向かって飛んでくるものを撃ち落とすだけでなく、どこであれ、それらが発射された場所に、全力で報復できるように。これが、私の見方です。

正直に言うと、今こそクリスチャンはひざまずいて祈る時だと思います。私は、4月8日の日食に熱中している人々を軽視したり、侮辱するつもりはありません。しかし正直に言うと、明日の方がはるかに重要で、祈り、神の介入を求めなければなりません。ほら、日食は何世紀も前から知り得ます。8日の日食は、何も目新しいことではありません。50年前でも、それについて言えましたし、他の日食がいつになるか、今、言えます。私たちは知っています。新しいものではなく、何も驚くことではなくて、それは起こります。しかし神が介入される時、何か大きなこと、大きなしるしがあるのは、予期せぬときです。それがしるしです。しかし、それが予想され、誰もがそれを知り、何年も前から知られていて、他にも起こることが分かっているなら…だからこそ、私たちは、物事を大袈裟にとらえないように、細心の注意を払わなければならないのです。しかし、明日のことは、必ずしも予測されていません。これは、イスラエルに損害を与える可能性があって、ここで、イスラエルのために、皆さんの祈りが必要なのです。

もう一つ、はっきり言っておきますが、敵は、イスラエルの消滅を望んでいます。よく読むと、ダニエル12章で、ダニエルは、ガブリエルが自分のところに来てミカエルのことを話すのを見ました。そして彼は言います。「あなたの国の人々を守る大いなる君、ミカエルが立ち上がる。」(ダニエル12:1)これはイスラエルの民、ユダヤ人を守る使命を与えられた大天使です。そして、その同じミカエルが、天で竜と戦っているのが、黙示録12章に書かれています。ですから、はっきり見てのとおり、敵、サタン自身である竜の試

みがあって、そしてミカエルと御使いたちが、彼と戦っています。イスラエルを守るように命じられた者が、竜、サタン自身に対して戦っているのです。したがって、常にユダヤ人、イスラエル国家を破壊し、殺そうとする悪魔の試みがあることが分かります。そして明日は、私たちの周囲全体から、そのような試みが起こるのを目の当たりにする日の一つです。だから私は、皆さん全員に呼びかけます。明日は、ひざまずいて祈ってください。世界中の信者の皆さん、祈りは私たちの武器です。私たちは、いくさ車や馬を誇りません。私たちは、ロケットや F-35 を誇りません。私たちには祈りがあります。祈りには力があります。私は強く信じています。今こそ教会、本当の教会、自分たちの義務を理解している教会、聖霊のある教会、あちこちに蔓延している反ユダヤ主義の悪魔に感染していない教会、本物の教会の皆さん、今こそイスラエルの民の守りために祈り、とりなす時です。とても簡単、とてもシンプルです。とてもシンプルな命令です。「エルサレムの平和のために祈れ。」キリストの兄弟たちのためにそこに居なさい、とてもシンプルな命令です。ですから皆さんをお願いします。懇願します。今夜から明日にかけて、あなたにできる最善のことは、祈り求めることです。教会での祈祷会、祈祷グループ、電話での祈祷会、どんな集会であれ、祈祷会を開いてください。これが私たちの武器、これが私たちにできることです。やりましょう、やってください。それには力があり、それは良いこと、それは重要です。



皆さんが理解されたことを本当に願っています。すべての重要な詳細、ニュース、ビデオ、地図は、私のテレグラムチャンネルでご覧いただけます。皆さん、テレグラムです。まだの人は、今、ここにあるこのバーコードをスキャンしてください。これです。そう、スキャンして参加すれば、起こっていることのすべてが分かります。起こっていることの全体像が、よくわかります。これは、私がすべてを伝えられる唯一のプラットフォームです。もし私が、テレグラムにあるビデオを Facebook または YouTube に投稿すると、制限がかかります。これが私たちのテレグラムです。

それから、私たちのクルーズに参加したい方は、これが 10 月の地中海クルーズです。そこで私たちは、ダニエルと黙示録を教えます。そしてこれが、カリブ海クルーズです。

そして最後に、Discovering Daniel の本を予約注文したい方は、ここをスキャンしてください。

ご視聴いただき、ありがとうございました。神の祝福がありますように。どうかシェアしてください。ありがとうございます。神の祝福がありますように。さようなら。



アミール・ツアルファティ テレグラムチャンネル

ビホールド・イスラエル 日本語チャンネル

<https://www.youtube.com/@BeholdIsraelJapanese>

日本語の聖書箇所は特記がされていない限り新改訳 2017 より引用しています。

聖書 新改訳 2017©2017 新日本聖書刊行会

メッセージの無断転載を固く禁じます。

Copyright © ビホールド・イスラエル All Rights Reserved.

---